

人生は、八合目からが  
おもしろい。



吉永小百合  
のん

木村文乃 若葉竜也／工藤阿須加／茅島みづき 和田光沙

円井わん 安藤輪子 中井千聖／長内映里香

三浦誠己 金井勇太 カトウシシケ 森 優作／濱田マリ 浅見小四郎

天海祐希／佐藤浩市

監督:阪本順治

脚本:坂口理子 音楽:安川午朗

原案:田部井淳子「人生、山あり“時々”谷あり」(潮出版社)

製作総指揮:木下直哉

© 2025「てっぺんの向こうにあなたがいる」製作委員会

10.31 FRI [teppen-movie.jp](http://teppen-movie.jp)

# てっぺんの 向こうに あなたがいる



# 女性初のエベレスト登頂から50周年を迎える2025年。『北のカナリアたち』以来、13年ぶりのタッグでおくる 壮大なスケールの冒険譚がはじまる!!



「人はなぜ山に登るのか?」「そこに山があるから」――

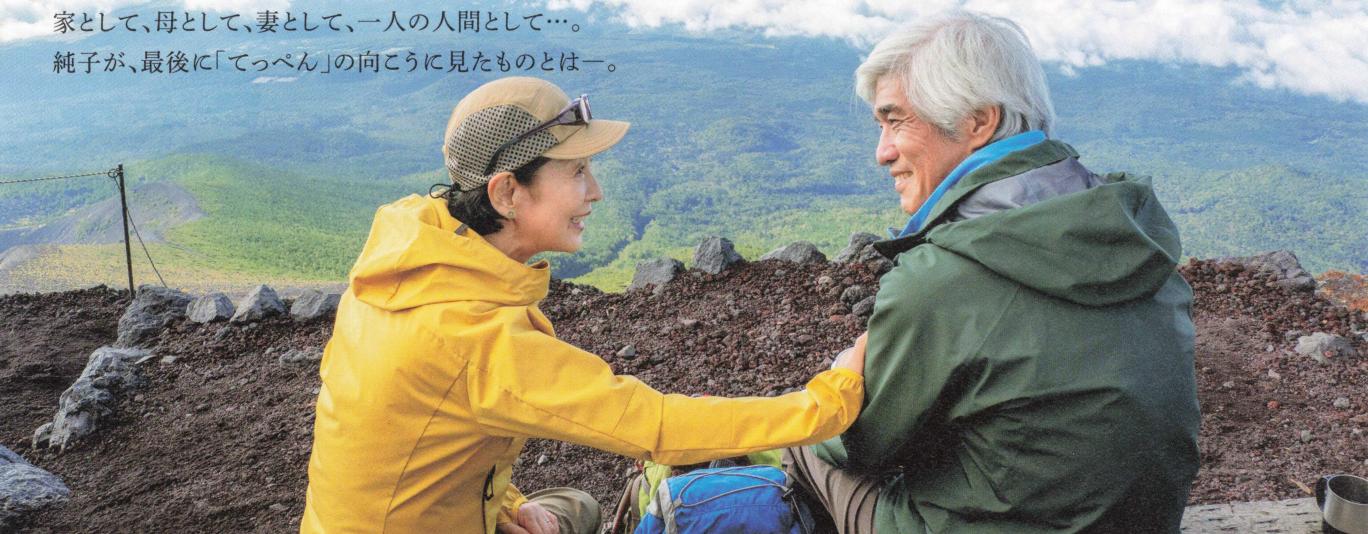
かつてこんな名言を残した登山家がいた。困難な道、簡単な道…登るも留まるも、それを決断するのも歩むのも自分自身であり、誰の人生においてもそれは同様だ。あなたはなぜ、その山を、その道を選ぶのだろうか?これは、自分の全てをかけて“てっぺん”に挑み続けた多部純子という女性登山家とその家族の物語である。

主人公・純子を演じるのは今作で映画出演124本目となり、日本映画界を牽引する俳優・吉永小百合。純子を支える夫・正明を演じるのは数々の映画賞を受賞し、圧倒的な存在感を誇る名優・佐藤浩市。純子の盟友であり、エベレスト登頂の相棒でもある北山悦子役には、吉永と映画『最高の人生の見つけ方』以来5年ぶりのタッグとなる天海祐希。青年期の純子役はアーティスト活動から俳優活動まで多方面で活躍し、その存在感と演技が絶賛されるのん。また、木村文乃、若葉竜也、工藤阿須加、茅島みづきと険しい高峰へ向けて実力派の俳優たちが揃った“パーティー”となった。



**STORY** 1975年、エベレスト山頂に向かう一人の女性の姿。一歩一歩着実に山頂(てっぺん)に向かっていくその者の名前は多部純子。日本時間16時30分、純子は女性として初の世界最高峰制覇を果たした――しかしその世界中を驚かせた輝かしい偉業は純子に、その友人や家族たちに光を与えると共に深い影も落とした。晩年においては、余命宣告を受けながらも「苦しい時こそ笑う」と家族や友人、周囲をその朗らかな笑顔で巻き込みながら、人生をかけて山へ挑み続けた。登山家として、母として、妻として、一人の人間として…。

純子が、最後に「てっぺん」の向こうに見たものとは――。



エグゼクティブプロデューサー:武鶴由美子 プロデューサー:富永理生子 アシエイトプロデューサー:鶴井友紀子 音楽プロデューサー:山島玄一 撮影:笠松則通 照明:渡邊孝一 録音:牌照康政 美術:杉本亮 装飾:佐藤孝之  
編集:鶴嶋信一 衣裳:大家謙 ヘアメイク:川原京子 音響効果:小島 駿 VFXスーパーバイザー:山倉慶一 奉行:川原京子 製作:小野寺明洋 製作組合:松山憲一良 ラインプロデューサー:鈴木嘉弘  
製作:「てっぺん」の向こうにあなたがいる 製作委員会 木下グループ 朝日新聞社 読売新聞社 警視新聞社 製作プロダクション:キノフィルムズ ドラゴンフライ 配給:キノフィルムズ 協力:一般社団法人 田部井淳子基金  
特別協賛:△三井不動産シンシャル 協賛:◎STARIS スターアクセス 特別協力:JR東日本 ◎五色の旗 宣伝協力:JAPAN AIRLINES 後援:東京都医師会 ヘアメイク協力:アートメイク

10.31 FRI 全国公開

劇場情報はこちら▶

